

母ちゃんレポート

こんにちは、ショウです。
俺は母が大好きです。

いきなりそんなことを言うと
マザコンって言われそうですが、
そう言う好きとはちょっと違います。

普通に、人間として好きです。

母はピアニストで
とても綺麗な音楽を奏でます。

表現が難しいのですが、
YouTubeで『駅で鬼滅の刃のオープニングを弾いてきました』
みたいなやつはどこか音が汚い、
見せびらかせてやるぜ感がある音なのですが、

母のピアノはそれと比べて
とても、美しい、聡明な音です。

料理もおいしくて、
母の味噌汁に勝てる物があるなら
持ってきてみるよって思うぐらい、
美味しいし、優しい味がします。

ソースどばーみたいな料理は大嫌いで、
素材本来の味を活かす料理をつくるのが
とても上手です。

正直ちょっと薄味なんですけど、
我が子の健康を第一に考えてくれているので、
断固として味付けを変えません。

カレーとかを美味しいって言うと
「ふーん」みたいな顔するのに、

冷蔵庫にあるものだけで工夫して作った夕飯を
「美味しい」って褒めると、
「やったやった♪」って言いながら喜びます。

家庭料理なのに
色合いにも気を使い、
カルボナーラには
パセリまで振りかけてくれます。

昔から勉強はよくできたみたいで、
中学まではよく母に勉強を教えてもらいました。

賢いし、料理もうまい。自慢の母です。

父とはお金の関係で、
仲が悪くなってしまい別居状態ですが、
俺と弟と母の仲はとてもよく、
毎日毎日、たわいもない会話をしてました。

そして、
24歳の春。

俺はトヨタ自動車に就職し、
実家である奈良から一人、
愛知県へ引っ越しました。

引越し当日、
母はとても寂しそうでした。

「息子が巣立つのは
喜びってのはわかるんだけど・・・。」

そんなことを言って
しょんぼりする母に俺は、

「洗脳されてきますわww」

と冗談をかまして
スタコラさっさと
家を出て行ってしまいました。

当時の俺は
一人暮らしに憧れてました。

「一人暮らしなん？」って人に聞かれたときに、
「いや、実家だよ」って答えたときに感じる、
負い目が嫌いだったんですね。

もう大人なのに、
まだ親に飯作ってもらってんの？

と内心思われているんじゃないか、と考えてしまって、
早く一人暮らししたいと思ってました。

もちろん、引越ししてからも、
ちょこちょこLINEで母とはやりとりはしていました。

母は、自分が面白いと思った
ネットの記事や動画などを、

家族のグループラインに
共有するのが好きでした。

でも、仕事が忙しくなると、
俺はLINEを見て返事を返すというのが、

億劫になってきて、
日に日に既読をつけるだけになっ
ていってしまいました。

トヨタ自動車では、配属前に、
工場実習というものが
3ヶ月ほど行われるんですが、
それがめちゃくちゃキツくてキツくて。

寮に帰ればもうヘトヘト。

休みの日に実家に帰る気力は全くなく、
ただ寮でポーーーーっとしてました。

ゴールデンウィークにも

「どっかで帰ってこないの??」

と母からLINEが来ましたが、

「まだ家出てからひと月じゃんww」

とLINEして、
ずっと寮で生活してました。

毎日毎日、仕事に忙殺され、
いつの間にかほとんどスマホすら
見なくなりました。

「本当に君はラインを見ないんだね・・・。」

と言うラインが来てから、
「忙しいからね。笑」と送ったり、
3日後にスタンプだけ送るという状態が
3ヶ月ほど続きました。

――

2019年7月4日の19時。
母から、奇妙なLINEが届きました。

「あのね、
スマホが乗っ取られている気がするの」

．．．．．？
何を言ってるんだ??

普段からなにかと
心配性な母。

また、なんかよくわからないから、
聞いてきてるのかな。

そう思って俺は、
「そんなわけないやんー」と
素っ気ないLINEを返しました。

その時は、
「なんか色々、
スマホの機能の説明とかしないとダメになりそう」
という気持ちすらよぎり、

めんどさくなりそうだから
絡まないでおこうとすら思っていました。

その日は夜勤。
俺は工場でせっせこカローラの
バンパー作らなくてはならないのです。

「まあ、頑張っって！」

とだけLINEし、スマホを鞆にいれ、
俺は工場のラインへと向かっていきました。

そして。
翌朝。

弟から大量の
LINEが連続で来まくり、
俺はその通知音で目を覚ましました。

一体、何事だよ・・・って思って、
LINEを開くと、
そこには衝撃的な文字が並んでいました。

”母さんが警察呼んだ”

“ガチで精神、メンタル系でやられてるっぽい”

”しかも警察に向かって、
アイツらは偽物だ————！！って叫んでる。”

————

———

—

母の病名は
統合失調症でした。旧名、精神分裂病。

本人は病識がなく、入院を拒否しましたが、
病状があまりにも著しいので、医療保護入院となりました。

半ば、強制の入院です。

原因はよくわかっていませんが、
人生の転機において過度の不安などがきっかけで
発症しやすい病だと、医者から言われました。

入院する時の母さんは、見るに絶えないほど、
ボロボロでした。

髪の毛はグチャグチャ。
肌は青白く、目は深黒に染まっていました。

俺が出ていく頃と比べると、
10歳ぐらい老けてみえました。

実家にかえると、
あんなに、綺麗好きだった、
完璧とも言える母の部屋とは言えないほど、
ぐっちゃぐちゃでした。

一体何故、こんなことに・・・。
俺がいない間になにがあったんだよ・・・。

事態が把握できず、混乱したまま、
俺は母親の入院に必要な衣服を、
部屋から集めていました。

あたりには、たくさんの、
謎のメモ書きがありました。

”ルーターの光り方がおかしい。”

”バスの後ろで、写真を取られた。”

“奴らから逃れるためには～～～”

そんな訳のわからない、
メモがたくさんありました。

そしてその中に。

”だからショウは帰ってこれない。会いたい”
と書かれたメモがありました。

俺は、これを見て、

泣き崩れて、

涙が止まらなくなって
しまいました。

俺は、

俺は。

俺は。

母さんがすごく寂しそうな顔をしていたのに、
俺はウキウキで家を出て行きました。

母さんが壊れていくところに気づくことなく、
俺はひたすら、工場でバンパーをせこせこ運んでました。

母さんは、ただ、
俺と喋りたかっただけなのに。

俺はなんにもしてませんでした。

母を、俺は、

無視して

放置していました。

アホすぎました。
意味がわからない。
全く意味がわからない。

一体、何故。
どうして。

どうして母が助けを求めているときに、
俺は素っ気なかったのでしょうか。

どうして俺は、
もっと大切な物に気付けなかったのでしょうか。

どうして俺は、
こんなにも冷酷な大人になってしまったのでしょうか。

どうして俺は、
大切な人と一緒にいるよりも、
仕事を選んでしまっていたのでしょうか。

いつから、俺はこんなにも
心ない人間になってしまったのでしょうか。

どうして俺は今更、

手を震わせて、

この文章を書きながら、

ボロボロと泣いているのでしょうか。

ひたすら既読だけつけて、
放置される気持ちが、
なぜわからなかったんでしょう。

なんで、
俺は恩を仇で返すようなことをしたんでしょう。

俺のせいで、
母さんの心は壊れてしまいました。

俺が、

母さんを、壊した。

そう思ってしまい、
泣いて泣いて泣きまくりました。

俺はこれが理由で、大切な人との時間が、
何よりも大事なことを、
大人になってやっと知りました。

俺と会いたいと思う人と一緒に時間を過ごしたい。
俺が会いたいと思う人と一緒に時間を過ごしたい。

何かを言い訳にして、
大切な人との時間を潰したくない。

何よりも大切なのは、
時間だと、やっと気づきました。

でも、時間のために仕事を辞めると、
お金が入ってこなくなる。

そうなる結局、また働いて、
時間を使ってお金を貯めないといけない。

一体、どうすればいいんだ・・・。

そう思っていたときに、

俺は時間とお金が両立できる
ネットビジネスに出会いました。

必死に勉強し、
最近は自力で時間とお金を
手に入れられるようになってきました。

今俺は、トヨタ自動車を辞め、
実家で母とおだやかに暮らしています。

幸い、薬も処方されているので、
少しずつ、元の母を取り戻しつつあります。

正直、もう二度と、
こんな思いをしたくありません。

そして俺は、
今度こそ、恩返ししようと思います。

母にはもう寂しい思いをして
欲しくないから。

母の大好きなイタリアに連れて行ってあげたいし、
孫の顔も見せてあげたいです。
いつまでも実家にいるのは無理かもしれないけど、
いつでも連絡取れる環境は絶対つくります。

弟にも俺のせいでたくさん苦勞をかけたので、色々恩返ししてあげないといけません。

母は病にかかってしまいましたが、俺はそのキッカケがあったからこそ、大切なものに気づくことができました。

当たり前のこと。
でも、忙殺されると忘れてしまうことに。

おだやかな時間と、
お世話になった人を支えられるだけの
お金を、俺は手に入れたい。

そのために、俺はこれからも
全力でネットビジネスをやっていきますし、
成功の軌跡をメルマガやブログで残していきたいと思います。

俺の発信を見て、一人でも多くの方が、
時間とお金を手に入れて、
より幸せな気持ちになってくれれば、
俺もうれしいです。

ショウ